

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

国立国際医療研究センター病院では、本センターで保管している検体と診療情報等を使って、下記の研究を実施しています。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究に利用・提供し欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。研究対象者に該当する方が未成年の場合は、保護者等の方からのお申し出も受け付けしています。お申し出頂いたことにより不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 成人アデノウイルス感染症の臨床像および分子疫学の解明のための研究

[研究対象者] 2020年1月1日～2026年12月31日に NCGM を受診された患者様でアデノウイルスが検出された方（小児を含む全年令対象）

[利用する検体・診療情報等の項目と取得方法]

検体：鼻咽頭ぬぐい液および血液の残余検体

診療情報：患者背景、身体所見、検査結果、臨床経過、病原体検査結果、ゲノム・エピゲノム情報を含めたウイルスの型判別、遺伝子型等、ウイルス成分に対する抗体価（血液検査残余検体）

[利用の目的] （遺伝子解析研究：有）

[共同研究機関及び研究責任者]

上記の検体・診療情報等を、下記機関に対して、ウイルス解析実施のために提供します。

〔主な提供方法〕 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

1. 国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター 高橋健一郎

[利益相反について]

利益相反の状況については NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理しています。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反状態はありません。

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2028年3月31日までの間（予定）

-----  
[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本センター倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する検体や診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立国際医療研究センター 理事長 國土 典宏

研究責任者：国立国際医療研究センター 国際感染症センター 医師 岩元典子

研究内容の問合せ担当者：国立国際医療研究センター 国際感染症センター 医師 岩元典子

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日9時～16時）

作成日：2024年10月4日 第1.0版